



## 歳入内訳

自主財源 **63%**  
依存財源 **37%**

## 一般会計予算

**103億3,357万円**  
対前年度比 13億4,220万4千円増  
(前年度比 114.9%)

村行政の基本的な経費である一般会計予算は、103億3,357万円で、対前年度比13億4,220万4千円増(前年度比114.9%)の予算となりました。これは主に基金繰入金(ふるさと納税)の増によるものである。

## 歳入に関する質疑

- 質** 村税、固定資産税の増の要因について
- 答** 家屋の新築が51棟、大型ホテル1件の調定額増及び想定収納率を2.4ポイント高い水準で積算したことが主な要因であるが、新型コロナウイルス感染症による減免措置も令和3年度までとなり、その分の増加も見込まれる
- 質** 公民館建設基金の増額の要因は
- 答** 次年度塩屋公民館移転新築工事を行うための基金積立てが最終年度となり、物価高騰による工事費も当初予定した金額より増額になったためである

## 歳出に関する質疑

- 質** 議会費、増額の要因は
- 答** 前年の10月より議員報酬の改定があったことと、タブレット端末導入による使用料増が要因である
- 質** 総務費、総務管理費、一般管理費、喜瀬武原地内防災倉庫移設工事について
- 答** 休校になった喜瀬武原小学校に設置された防災倉庫を喜瀬武原公民館へ移設する
- 質** 食の自立支援事業委託料3,035万9千円について、委員から「事業内容と委託料の増額について」
- 答** 65歳以上の高齢者が対象で独居世帯、また家族で食事を作ることができない方への見守りを含めた配食サービスである。また、委託料の増額は最近の物価高騰による委託料の改定で、消費税を5%で契約していたものを10%にしたものである
- 質** 農林水産業費、水産業費、水産業振興費、里海づくり推進協議会について、委員から「これまでの取組の成果と今後の課題は」
- 答** これまで約10年近く協議会を行っており、成果としては観光客向けの便益施設で、当初は海の駅構想ということでスタートしましたが、令和4年度から8年度まで実施される前兼久漁港観光関連施設整備である。また、今後の課題は漁港内における放置船、放置車両、コンテナ等無許可の物件の撤去である

記事担当: 稲村雅司

- 質** 観光費、委託料、恩納村観光誘客おもてなし推進事業2,919万7千円について
- 答** 6つの事業があり、コロナ禍により実施できなかった海外プロモーション事業とナビマップの情報更新で、約900万円の増額となっている
- 質** 教育費、小学校費、学校管理費、委託料、喜瀬武原幼小学校機械警備業務委託料198万円とスクールバス運行委託料573万6千円について
- 答** 喜瀬武原幼稚園・小学校は、安富祖幼稚園・小学校に統合されたことにより休校中であるが、施設を今後地域において有効に活用するためには活用方法が決定するまで管理が必要である。スクールバスについては生徒の下校時の送迎のためのものである
- 質** 社会教育費、社会教育総務費、負担金補助及び交付金、公民館等施設整備事業補助金1,500万円について
- 答** 公民館等収益のない施設に係る修繕費で上限額500万円、下限額30万円で3行政区を想定しての予算額ではあるが、今年度は老朽化した喜瀬武原青年会館の取り壊し費用に利用できればと考えている

## 令和5年度 一般会計予算修正案に関して

第4号議案、恩納村附属機関設置条例の一部を改正する条例、第5号議案、特別職で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例が否決されたことにより、令和5年度恩納村一般会計予算の修正が生じたこと、本委員会委員長宛に5名の委員から、会議規則第69条の規定により提出された、議案第19号、令和5年度恩納村一般会計予算に対する修正案を受理し、審査を行いました。内容は、別紙修正案のとおり、歳出は7款商工費、1項商工費、3目観光費の真栄田岬指定管理者適正評価報酬19万2千円と、同款、同項、同目の真栄田岬指定管理者適正評価費用弁償1万9千円の削除、歳入は19款繰入金、1項基金繰入金、1目基金繰入金の財政調整基金繰入金「1億4,928万円」を「1億4,906万9千円」に減額し、歳入歳出総額を103億3,357万4千円とするものである

- 質** 真栄田岬指定管理者に特化した適正評価委員会は否決されたが、今後の方針は
- 答** 村全体の指定管理に係る適正評価は大変重要なことであることから、他市町村の事例を参考に関係各課を含めた検討を行い構築していく
- 委員** いろいろな指定管理施設があるので、評価委員については柔軟に対応できるように検討していただきたい